

将来都市像の検討

平成30年10月20日(土)

弘前市役所市民防災館4階食堂

1 これまでの過程

- 1)第1回市民会議 拓げる編 弘前の将来イメージを具体的に描いてみよう(8月25日)
2040年頃にこうなしてほしいという将来イメージを共有し、キーワード化。

A 班	「便利、不自由がなくなる」、「学校誘致」、「中心商店街活性化」、 「他の市町村との交流」、「地元のまつりを残す」、「健康増進」、 「弘前のきれいな自然を残す」
B 班	「四季の色と花と香りに触れる旅を!」、「地域でつながる子育て」、 「雪と共に暮らす」、「安心して来て下さい!弘前ですよ」、 「職人が誇れる街」
C 班	「健康(スポーツが充実)」、「愛着が持てるポジティブな食文化」、 「つながりで幸福感じる環境」、「弘前らしい目玉(交通)」、 「観光(資源)」、「人口減少(働く場と住まい)」
D 班	「オンリーワンの学術研究都市」、「世界に拓がる食の発信基地」、 「住みやすさは No.1」、「ふるさとに対する誇りと愛情を育むまち」
E 班	「文化、学びによって市民生活が豊かになっている」、 「雪対策が万全になっている!」、「岩木山が利活用されている」、 「若い人が弘前を離れられずにいる」、「新しい仕組みで課題解決」

↓ 6つのテーマに再編

1	外とつながる・交わる、弘前ブランド、観光
2	産業に新技術、雇用、移住
3	まち中・中心市街地で歩く、しゃべる、集える
4	雪対策、公共交通
5	ねぶた、コミュニティ、子育て、健康、スポーツ
6	自然の恵み、伝統文化、遊び、子供の成長

- 2)第2回市民会議 深める編 みんなの将来イメージを集めて物語を紡いでみよう(9月29日)

- 1)の**1**～**6**のテーマでグループを構成し、

第1ラウンド 『こうなったらいいな!20年後の(テーマ)』

第2ラウンド 『これは使える!すでにある!弘前の資源や宝物』

第3ラウンド 『これは必要!あったらいい!新しいコトやモノ』

について、ワールドカフェ方式で意見交換。

テーマ **1 外とつながる・交わる、弘前ブランド、観光**

■テーマに込めた思い

- ①歴史ある弘前の文化(まつり、建造物、食、伝統工芸、津軽弁など)が次世代に継承され、情報発信されることで、市民だけでなく国内外の多くの方に愛される、「あずましくて、あどはだりしたくなるまち 弘前」となっています。
- ②弘前の魅力的で訴求力のある観光資源が、点から線でつながることで、弘前の魅力が向上します。また、他地域とも連携した魅力が面として発信されることで、弘前を中心として津軽全体の魅力が向上します。
- ③弘前の文化は、時代に合わせて柔軟に対応・変化していくことで、進化し続けています。

■ラウンドごとのキーワード

第1ラウンド 『こうなったらいいな！20年後の外とつながる・交わる、弘前ブランド、観光』	「あずましい(一言で色々な意味がある)」「津軽弁のキーワードづくり」「自慢になる津軽弁」「えふりにきな所がある」「地元の人が自信がない」「文化に自信を持つ」「観光した人に SNS とかにアップしてもらう」「他の市の情報もやりとりできる」「現地の人も楽しめる流れを」「資源を線で結んだプラン」「それぞれの専門で外部へ発信」「自然を活用してほしい」「世界から人が来る」
第2ラウンド 『これは使える！すでにある！弘前の資源や宝物』	「こぎん刺し」「津軽弁はフランス語と似てる」「多文化とコラボ」「空き家活用」「津軽弁の辞典がある」「若い世代が津軽弁使わなくなってきた」「津軽弁留学あれば」「飲み会+津軽弁あびせ」「東京・大阪の人は興味ある」「びょん」「津軽弁のバッジ、LINE スタンプ、標語」「津軽ラーメン、津軽そば」「じょっぱり、あずまし、ひろさきし」「字幕の出るテレビ」「着物、ねぶた衣装、ゆかた」「大学いも、けの汁」
第3ラウンド 『これは必要！あったらいい！新しいコトやモノ』	○観光(資源) 「コアな人をターゲット(こけし、刀とか)にしたツアー」「行政が観光に使えるような歴史に詳しくない」「外部の人が文化、伝統、体験」「市民が選んで市民が作るコース」「歴史・時代に合わせた観光ルート」「三大刺し子ツアー」「観光客がねぶた制作、ねぶた参加」「資源を活用するシステムができていない」「ルート巡回バス」「テーマに合わせたバス」「コース、テーマごとの観光タクシー」「夜の交通の便が悪い(バス、レンタサイクル)」「郷土料理+津軽弁」「旅行会社+地元民の情報」 ○愛着が持てるポジティブな文化 「伝統・文化を残すために、今に合わせ、柔軟に変化、進化」「新美術館は弘前のもので展示(他でもできるものを弘前でやる必要ない)」「祭り+食、ねぶた、おでん、シャーベット」「ネガティブ津軽弁講座」「津軽弁を自信に」「津軽そばの復活」「伝統+食+服装のコラボ、当たり前は見る人面白い」「津軽の文化を津軽の人が紹介する場」

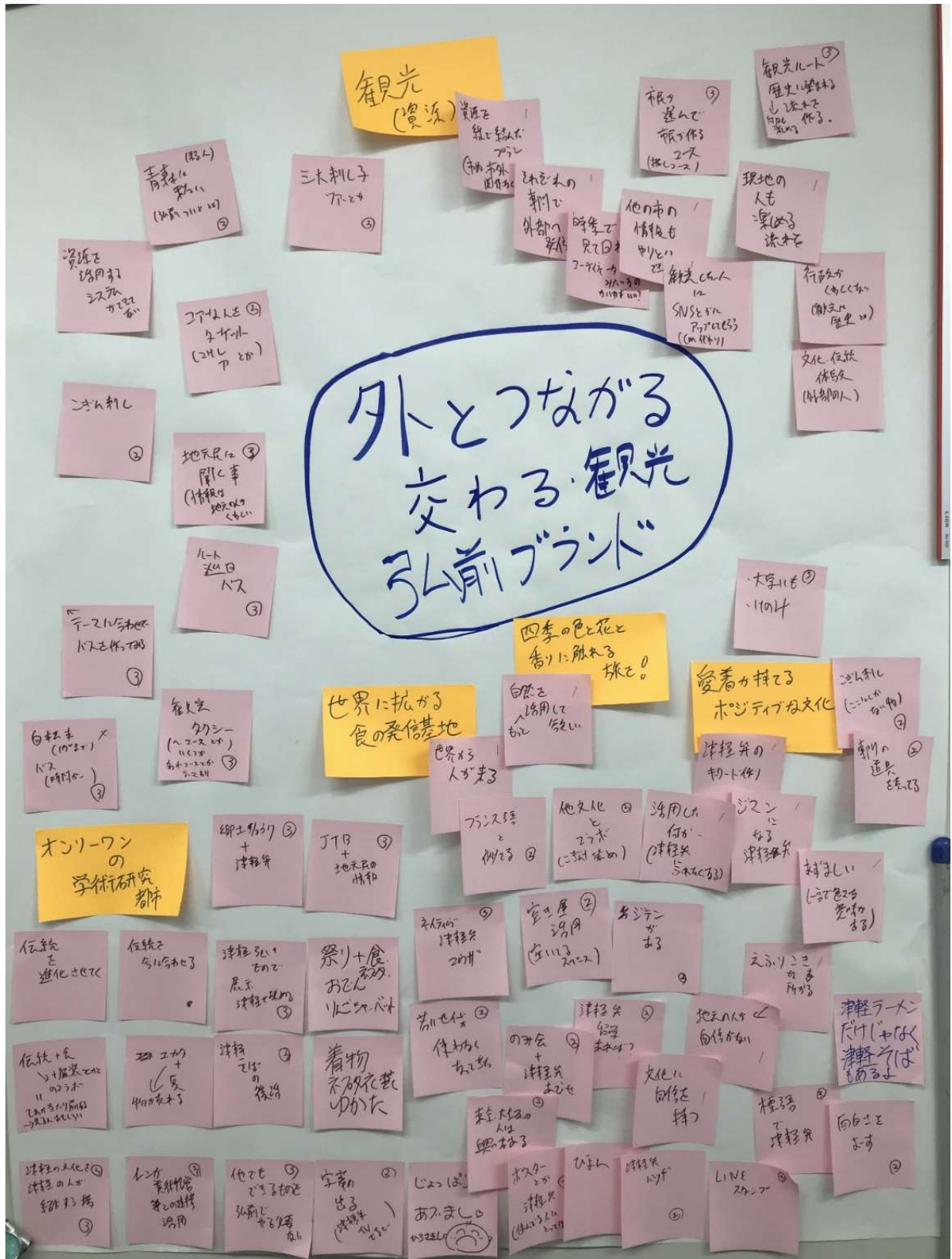


写真1 テーマ①で話し合われた記録

テーマ 2産業に新技術、雇用、移住

■テーマに込めた思い

- ④りんごをはじめとした農業、伝統産業、中心商店街、企業など弘前市の基盤となる産業が『継業※』により継承され全世代が活躍しています。

※継業…事業、生業、その経営基盤を継ぐこと。特に親族といった一般的な候補ではなく、接点のない第三者が引き継ぐこと。

- ⑤農業、製造業、サービス業などすべての産業において、進取の精神によりAI、IoT など新技術が導入、活用されることで、弘前の産業の基盤が維持、発展しています。
- ⑥学都として、有能な人材輩出(地元就職)や地元企業と大学の連携による新産業創出、大学の持つ宝(知的・人的財産)を活用した地域課題解決など、大学との協働による地域づくりがさらに促進しています。
- ⑦岩木山と岩木川の自然の恵みを受けるとともに、最新技術の導入や多様な人材が活躍できる環境が整うことで、「働くといえば農業」と農業が若者にとって魅力ある憧れの職業となっています。

■ラウンドごとのキーワード

<p>第1ラウンド 『こうなったらいいな！20年後の産業に新技術、雇用、移住』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょっとしたら人材不足を外国人が担っている？ ・いろいろな国や地域から移住するグローバルで伝統のある弘前市 ・十分な賃金と雇用がある。能力のある人にお金が行くような弘前市 ・20年後、起業は普通のことになっている。(起業はそんなにハードル高くないよ)⇒後継者問題必ず来る。 ・起業と後継者不足をマッチングさせることで、新たな発想生まれる！(イノベーション！)⇒「継業」に自治体が補助金出せば。首都圏では継業マッチングの会社あり。継業は、りんご、伝統産業(津軽塗、ねぶた絵師)、中心商店街、岩木の温泉宿で必要。 ・新技術や研究が発展している受け皿となる弘前市、学術研究都市 ・移住相談業務は一過性でなく、ずっと続いて行っている。 ・グローバル、多様性 ・名家の子ではない人でも実力でトップに立てる ・空き家・空き店舗のマッチング ・全世代雇用 ・進取の精神 ・若者に魅力的な企業がいっぱい(弘大生が残りたと思う企業) ・既存の大手誘致企業以外の大企業があつたらいいな ・史跡ほどではない歴史ある建物の利活用(コープ松原店、住吉神社等) ・20年後、働くといえば農業！！ ・サラリーマン×農業×投資＝暮らし ・個人事業主化が進む、アイデアが実現する風土
<p>第2ラウンド 『これは使える！すでにある！弘前の資源や宝物』</p>	<p>「岩木山」「岩木山と岩木川、自然を活かした産業(観光、農業)」「弘前城」「弘前公園」「弘前大学(大学のシーズを地域企業に)(若い学生は地域の宝)(もうちょっと留学生来てほしい)」「弘前大学を退官した人が宝、もっと活用して」「副業1人〇役」「土手町の老舗」「りんご農家」「誘致企業」「青森ヒバ」「土地」</p>

テーマ **3まち中・中心市街地で歩く、しゃべる、集える**

■テーマに込めた思い

- ⑧民間主導により歴史的建造物や古民家など弘前ならではの文化が拠点として活用され、ビジネスだけでなくコミュニティの視点(自分よし・相手よし・世間よし)をもった経営者が育ち、街中に多様な魅力を創出し求心力を高め、中心市街地が活性化しにぎわっています。
- ⑨大学生だけではなく中高生へも視点を向けることで、学生が街中に住み活動し、賑わいを創出させ、次代を担う高校生や中学生などがそれに憧れ継承される好循環が形成されています。

■ラウンドごとのキーワード(■出されたキーワード)

ラウンドごとに書かれていればラウンドごとのキーワード

ラウンドごとに整理できなければ、模造紙から全部を書き出す or 主なものを抽出？

<p>第1ラウンド</p> <p>『こうなったらいいな！20年後のまち中・中心市街地で歩く、しゃべる、集える』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも集える拠点(まちなか公民館)があればいい。 ・車などの技術革新により、歩きやすく買い物しやすいまちになればよい。 ・歴史的建築物、古民家といった弘前ならではの質の高い資源をどんどん新しい使い方で活用していく。 ・まちなかに住んでいる学生たちが、暮らすだけではなく、遊びに出かけるようなまちになってほしい。
<p>第2ラウンド</p> <p>『これは使える！すでにある！弘前の資源や宝物』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他でまねしようと思っても作れない街並みや文化が残っている。 ・かだれ横丁など空き店舗が活用されよい。 ・スターバックスも歴史的建造物が活用され、老若男女も集まりよい。 ・旧市立図書館や偕行社など活用できる歴史的建築物がまだある。 ・中央市場を食に関わる拠点として活用したい。 ・量販店やネットでは買えないようなモノを売る専門店が少ないが土手町には残っている。 ・どて箱、HLS も空き店舗が活用され、HLS については民間企業の活動の中で学生や地域の人、識者との結びつきが生まれている。 ・フランスマルシェなど学生主体のイベントもある。 ・市民主導、民間主導でまちづくりを行っている事例の方が成功していると思う。 ・市内でも拠点づくりにクラウドファンディングを活用しようとしている人がでている。

『これは必要！
あったらいい！
新しいコトやモノ』

- ・多世代が集まるコミュニティカフェがあればよい。
- ・子ども、学生、高齢者のように世代を区切って考えない(こども食堂＋おとな食堂)。
- ・現在の若者だけではなく、まちがにぎわっていた頃を知っている世代(3代以上)へのアプローチも必要ではないか。
- ・昼(食堂、カフェ)と夜(立ち飲み等)の異なる使い方があつてもよい。
- ・市街地(まちなか)に高校をもどせば若者の流れができる。
- ・高い建物をこれ以上増やさない(雪や景観に配慮し地下街)。
- ・黒石の松の湯や大鰐の蔵カフェなど、民間が主体的にお金を出して実践する取り組みが増えればよい。
- ・市はそういう人たちがまちで実践しやすくなったり、新たにやりたい人にアドバイスできるような環境づくりをすればよい。
- ・空き家や空き店舗活用では、補助金ではなく、家賃を下げるような施策を取った方がよい。

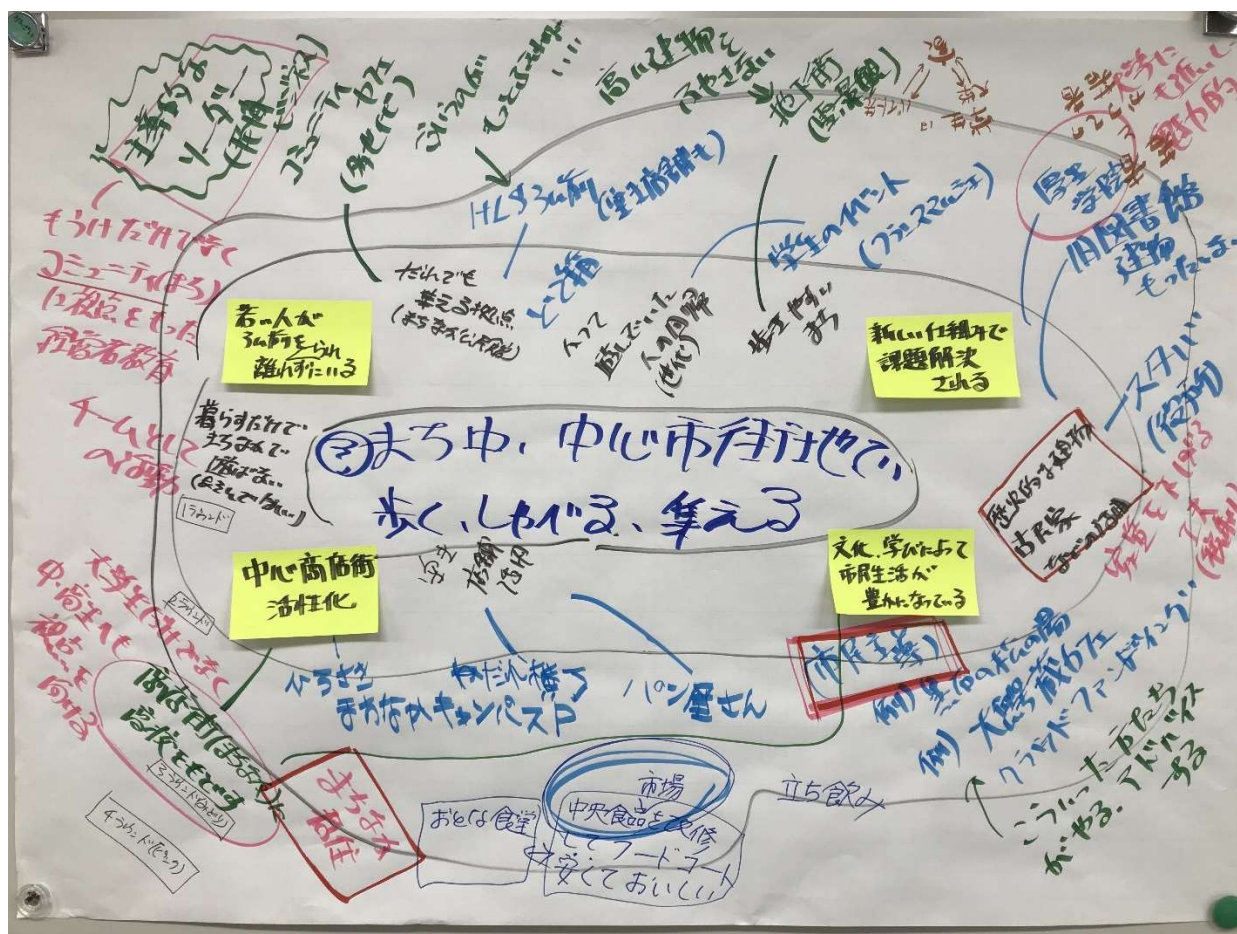


写真3 テーマ3で話し合われた記録

テーマ **4雪対策、公共交通**

■テーマに込めた思い

○雪対策

- ⑩電柱の地中埋設化を図るほか、歩道への電熱線利用による冬でも快適な歩道の整備、雪下ろしが不要な屋根の推進など、雪に強いまちになっています。
- ⑪除雪と排雪を一体的に進めるほか、温泉や地熱などの熱源を利用した民家前の寄せ雪の融解処理など、新たな視点での取組をしています。
- ⑫リアルタイムでの除雪情報を発信するアプリを開発するなど、情報発信力の向上が図られています。
- ⑬空き家や空き地を利用した雪置き場の確保や、高齢者や障がい者等における自宅前の寄せ雪を除雪マンが片付ける助け合い、支え合いの体制の整備など、地域力を結集した雪対策を進めています。
- ⑭雪が雪かき教室など移住者や観光客の体験メニューとして「楽しく」活用されるほか、市民の健康増進のためのツールとしても「便利に」活用されるなど、雪に親しむまちづくりが進んでいます。

○公共交通

- ⑮高齢者や障がい者等の交通弱者を意識した、病院やスーパー等を巡回するなどのバス路線が充実しています。
- ⑯多様化するニーズに応じ、自転車やペットを乗車できる体制が整備されています。
- ⑰利用者の利便性向上のため、ICカードやパス券等が利用できるようになっています。

■ラウンドごとのキーワード

第1ラウンド 『こうなったらいいな！20年後の雪対策、公共交通』	・住みやすさはNo. 1…歩道の雪なし、歩きやすい街、バスの路線増・時間延長 ・雪と共に暮らす…雪かきで健康長寿、財源や人、労力をかけない方法 ・万全な雪対策…除雪と排雪の一体化、雪下ろし不要の屋根 ・若者が離れられないまち…利用しやすいバスのパス券、バス・電車のICカード使用
第2ラウンド 『これは使える！すでにある！弘前の資源や宝物』	・弘前らしい目玉…お城と雪の街、100円バス、車の共用、観光力 ・雪の活用…地熱と冷房、雪室、夏に雪かき体験、温泉利用での融雪
第3ラウンド 『これは必要！あったらいい！新しいコトやモノ』	・宣伝力…除雪情報アプリ、除雪マン、雪かき教室（やり方、エクササイズ、歩き方）、ユーチューブでの発信 ・地域力…雪捨て場（空き家、空き地の活用）、住み替え、地域の助け合い、弱者の住みやすい街

テーマ **5** **ねぶた、コミュニティ、子育て、健康、スポーツ**

■テーマに込めた思い

- ⑱ 今弘前にある近所とのつながりや、ねぶた、スキースクール、子ども会、個人の教室やお寺での取組など、子育てに関するコミュニティ活動が継続されているとともに、空き家、空き教室、土手町も活用され、弘前の伝統や文化の伝承を含めた地域での子育てが進んでおり、将来のリーダーが育っています。
- ⑲ 大学生や仕事の関係などで新たに弘前に入ってくるひとたちに、弘前の生活のしやすさを市民が紹介する案内所があるほか、地域にある個々のコミュニティをつなぐプロデューサーが人と人や、組織と人をつなぎ、弘前の魅力を知り、地域内外に広めて、結果的に将来のリーダーが育っています。また、弘前のことをみんなが自分の問題として、ざっくばらんに話し合える場があります。
- ⑳ 20年後、ねぶたを中心としたあずましいコミュニティを核に、地域をプロデュースする人材（リーダー）が育成されています。

■ラウンドごとのキーワード

<p>第1ラウンド</p> <p>『こうなったらいいな！20年後のねぶた、コミュニティ、子育て、健康、スポーツ』</p>	<p>・歩いて気軽にスポーツ ・土手町の新たな活用 ・子どもと一緒に</p> <p>・公園で健康増進、手軽に。メンテナンスは高齢者がボランティアで。</p> <p>・中土手町を歩けばスポーツに ・鉄棒つき ・歩道でスポーツ</p> <p>・足つぽマッサージ ⇒顔を出しやすい⇒コミュニティに町内会⇒ねぶた</p> <p>・あずましいまち ・あずましいコミュニティの場所 目指すはココ！</p> <p>・町内会の公民館の役割 まつり、子育て、子ども食堂</p> <p>・信用してまかせる ・周りをまきこむ 地域で⇒子育ては所得を増やす</p>
<p>第2ラウンド</p> <p>『これは使える！すでにある！弘前の資源や宝物』</p>	<p>・他の市町村のよいところ育てる、活用 ・大学生←弘前を知る→広める</p> <p>・四季のまつり、まちなみ ・津軽弁 ・やさしい ・ご近所さんがみえる</p> <p>・人が優しい ・弘前を愛している</p> <p>・子ども会、ガールスカウト、ボーイスカウト ・NPO の活動 ・スポーツ</p> <p>・活用 ・安いシェアハウス、コミュニティ ・郵便局</p> <p>・空き家、小学校の空き教室 ・土手町のアーケード ・屋台村</p> <p>・食べ物屋 ・人材育成できる商店街 ・ノウハウ、経済力</p> <p>・プロデューサー ⇄ 地域の教育で育てる ・20年後のリーダー育成</p>
<p>第3ラウンド</p> <p>『これは必要！あったらいい！新しいコトやモノ』</p>	<p>・たまたま弘前 ・弘前を好きな人が来るイベント 地域について知りたい</p> <p>・プロデュースする人 ・コミュニティ充実 ・大学生対象</p> <p>・市の問題について話し合う、共有する場をつくる 自分達の力で係れる場所 ・市民会議</p> <p>・外から入ってくる人に「やさしい弘前」 ・窓口 ・新市民案内所（観光案内所）</p>

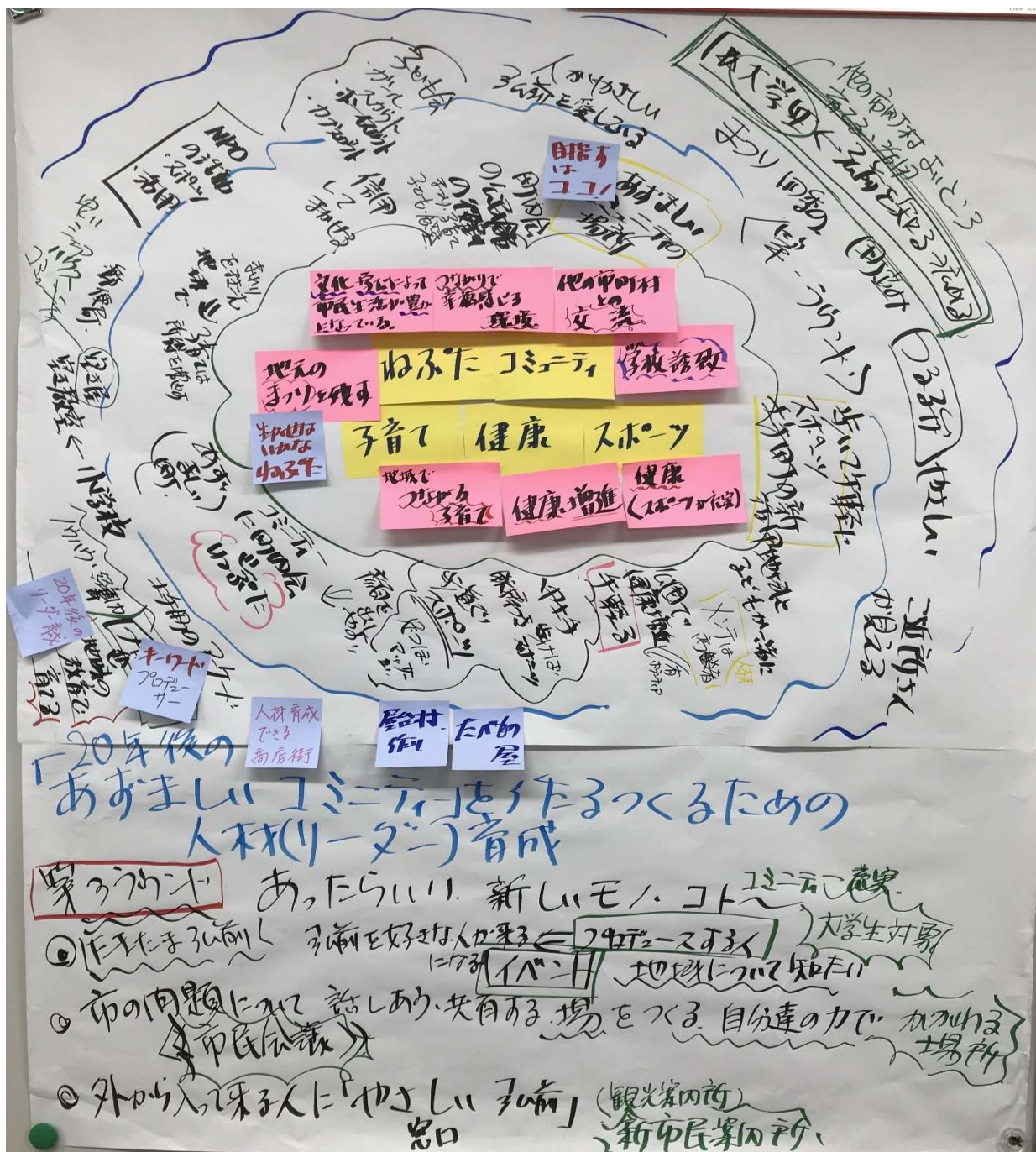


写真5 テーマ5で話し合われた記録

テーマ **6自然の恵み、伝統文化、遊び、子供の成長**

■テーマに込めた思い

- ②岩木川が整備されて市民の憩いの場になることや、弘前駅から岩木山までの景観が整備されること、岩木山のライトアップなどによって、津軽富士であり地域の宝である岩木山が活用され、アピールされています。また、自然や伝統を残すこと・作ることに市民全員が関わりながら、他市町村との連携も進むことで、住みよい街になっています。
- ②こぎん刺しや津軽塗などの伝統工芸を趣味にする人が増え、その趣味が仕事につながっていくとともに、子どもたちが伝統工芸に触れる機会が増え、職人がなりたい職業の一つになっていることで、結果として、担い手不足となっている伝統工芸職人の技術が維持されています。
- ③外国人など多様な人が子育てしやすく、弘前に住む人みんなが弘前を好きになって愛情を育むまちになっています。

■ラウンドごとのキーワード

<p>第1ラウンド</p> <p>『こうなったらいいな！20年後の自然の恵み、伝統文化、遊び、子供の成長』</p>	<p>岩木山が活用されている</p> <p>岩木川は日本の宝！もっとアピール！</p> <p>案①岩木山沿いをキレイにして市民の憩いの場へ 温泉の活用→別荘の利活用</p> <p>案②弘前駅から岩木山が丸見え！</p> <p>案③夜の大人の遊び場づくり 岩木山ライトアップ 遊楽街復活！</p>
<p>第2ラウンド</p> <p>『これは使える！すでにある！弘前の資源や宝物』</p>	<p>職人が誇れる街</p> <p>課題…手作り職人が減っている、担い手不足</p> <p>職人がいなくなる＝日本文化を捨てる</p> <p>職人同士のつながりづくりも大事！</p> <p>職人≡芸術家 あくまでも文化！</p> <p>今ブーム！…こぎん刺しブーム！</p> <p>職人も時代に合った考え方に変えないとダメ？</p> <p>解決策…趣味→仕事 興味持ってもらおう⇒働く場づくりも必要！</p>
<p>第3ラウンド</p> <p>『これは必要！あったらいい！新しいコトやモノ』</p>	<p>ふるさとに対する誇り、愛情を育む街 地域でつながる子育て</p> <p>学校教育+地域での教育(行政も住民も)</p> <p>例①プロデュースできる人材育成…教育</p> <p>職業選択として、職人の現場を子どもが見学 教育科目を増やす！(津軽塗づくり)</p> <p>例②多様な人が暮らしやすい受け入れ体験</p> <p>外国人も子育てしやすい環境づくり インターナショナルスクールをつくる！ 雪対策</p>

- ・弘前のきれいな自然を残す ・住んでいると当たり前になっていく…
- ・岩木山登山、さくらまつりに触れる機会
- ・弘前の自然を作る ・他市町村と連携、昔の津軽藩に
- ・弘前が中心になって自然を守る

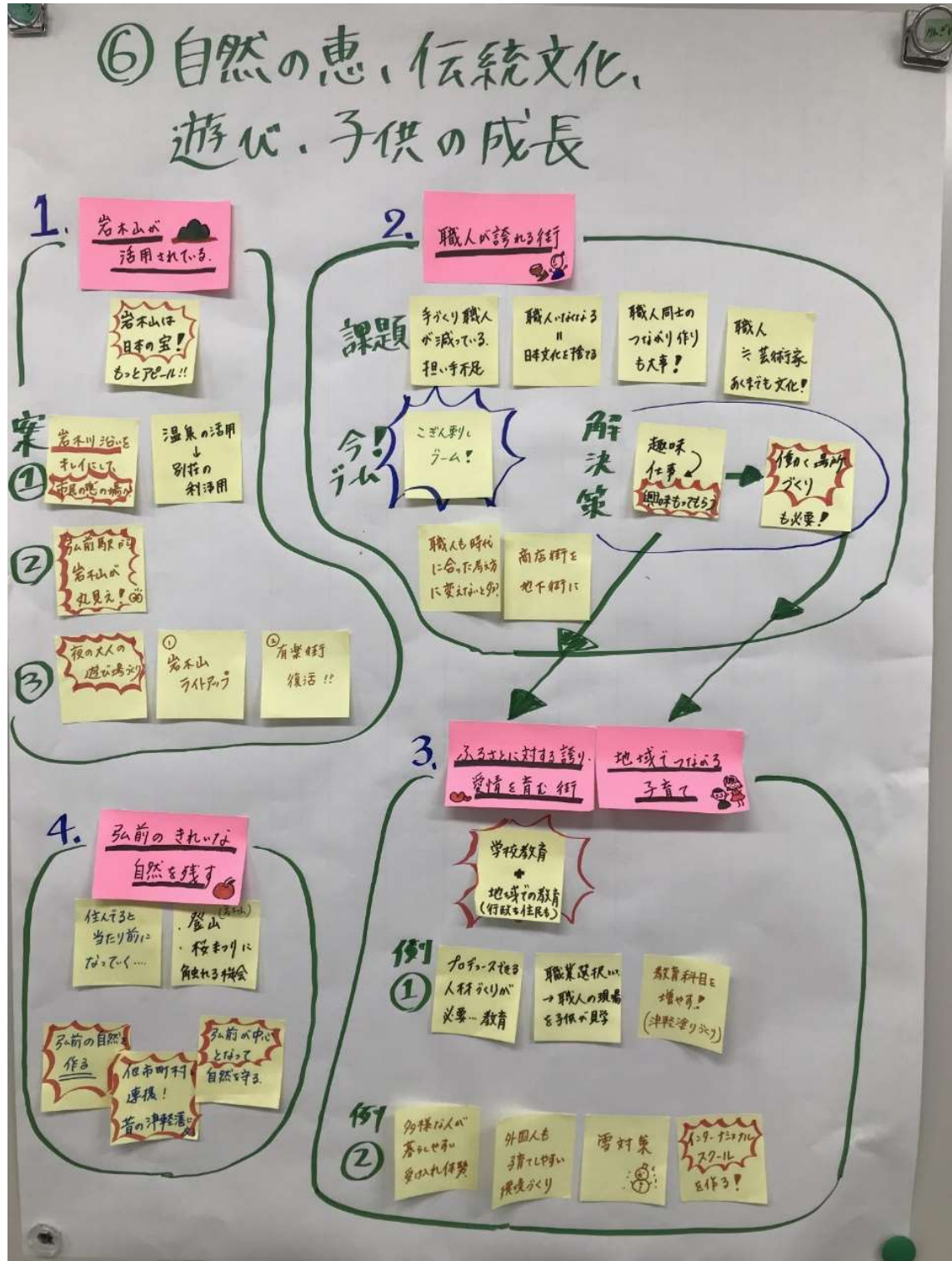


写真6 テーマ⑥で話し合われた記録

2 『将来都市像に込めた思い』原案の作成方法について

1) テーマ①～⑥でまとめた『テーマに込めた思い』①～③を、共通する内容、キーワードなどにより、運営側が以下の5つ分野にグルーピングし、『分野ごとの将来都市像に込めた思い』を設定。

No.	分野ごとの将来都市像に込めた思い	
1	郷土への愛着	将来都市像に 込めた思い
2	コミュニティ	
3	くらし(健康、福祉、住みやすさ、交通、雪)	
4	人材育成	
5	産業	

2) ①～③を5つの分野に振り分ける際には、以下のⅠ～Ⅳのルールに沿ってグルーピング。

- Ⅰ 具体的な事業レベルの話題(例:電柱の地中化、アプリの開発など)には踏み込まない。
- Ⅱ 1つの『テーマに込めた思い』の文章の中に複数の分野の内容が含まれる場合は、1つの文章を細分化し、『分野ごとの将来都市像に込めた思い』に振り分け。
- Ⅲ 第1回市民会議の将来イメージからも『分野ごとの将来都市像に込めた思い』採用し、内容を補完。(下記、将来都市像に込めた思いでは「・」で表記)
- Ⅳ 『分野ごとの将来都市像に込めた思い』に運営側でキャッチコピーを設定。

『将来都市像に込めた思い』原案の作成過程

【1. 郷土への愛着】

- ① 歴史ある弘前の文化は、市民だけでなく国内外の多くの方に愛されています。
- ② 津軽富士であり地域の宝である岩木山が活用され、自然や伝統を残すこと・作ることに市民全員が関わり住みよい街になっています。
- ⑧ 弘前を愛する人が主体的となり民間主導で歴史的建造物や古民家など弘前ならではの文化が拠点として活用されています。
- ⑨ 若者が弘前の魅力の虜となり、弘前を離れられずにいます。
 - ・若いころ、弘前を離れた人が、必ず戻ってくるふるさととなっています。
 - ・市民だけでなく多くの観光客が、季節ごとに移ろう、弘前の色、香り、音、味を感じて楽しんでいます。
 - ・子どもたちが、自然に触れ合うことで、わんぱくな明るい子に育っています。



お岩木山とお城と桜 みんなに愛され誇らしい 離れらいねまち

- ・岩木山や弘前城、桜、ねぶたなど、美しく豊かな自然と風格のある歴史的及び文化的遺産が維持・継承・活用されています。
- ・市民は弘前の自然と文化に誇りと愛情を持ち、住まう幸せを感じ、訪れる人も季節ごとに移ろう、弘前の色、香り、音、味に魅力を感じています。
- ・子どもころから自然と文化に触れあい、弘前を愛する心が育まれ、弘前の魅力の虜となり、若者にとっても住み続けたい、戻ってきたいと思うふるさととなっています。

※上部の「将来都市像に込めた思い」に振り分けた文章を、下部の原案のとおりまとめました。

文章に引かれているマーカーの色は、振り分けた文章を、原案のどの部分に反映したかを示しています。

【1. 郷土への愛着】～【5. 産業】のすべてをまとめた「将来都市像に込めた思い」原案は、p20～21に掲載しております。

【2. コミュニティ】

- ⑥学都として、地元企業と大学の連携による新産業創出、大学の持つ宝（知的・人的財産）を活用した地域課題解決など、大学との協働による地域づくりがさらに促進しています。
- ⑧ビジネスだけでなくコミュニティの視点（自分よし・相手よし・世間よし）をもった経営者が育ち、街中に多様な魅力を創出し求心力を高め、中心市街地が活性化し賑わっています。
- ⑬助け合い、支え合いの体制が整備され、高齢者や障がい者への支援が積極的に行われるなど、地域力を結集した雪対策が進められています。
- ⑱今弘前にある近所とのつながりや、ねぶたなど伝統や文化の継承を含めた地域での子育てが進んでいます。
- ⑲コミュニティの場として空き家、空き教室、土手町が活用されています。
- ⑳ねぶたを中心としたあずましいコミュニティを核に、地域の人たちのつながりがさらに強まっています。



ひとがつながり　ひとが育ち　地域が和む　ヤーヤドーのまち

- ・町会活動やねぶたなどコミュニティ活動が根付き、地域ならではの文化・生活が営まれ、子どもからお年寄りまで学び支え合い、地域ぐるみの子育てが進むなどきずなのあるあずましいコミュニティが維持されています。
- ・高齢者や障がい者への支援が積極的に行われるなど、助け合い、支え合いの体制が整備されています。
- ・市民や行政との連携だけでなく、大学や企業とも共に力を合わせ協働することで、それぞれが持つ専門性や若い力をもって地域の課題解決や活性化がより一層図られています。
- ・歴史的建造物や空き家、空き店舗などが活用され、新しいコミュニティの場所が生まれています。

【3.くらし（健康、福祉、住みやすい、交通、雪）】

- ⑩⑪新たな視点で雪対策の取組がなされることで、冬でも快適な雪に強いまちになっています。
- ⑭雪が楽しく便利に活用されるなど、雪に親しみ雪と共に暮らすまちづくりが進んでいます。
- ⑮病院やスーパー等を巡回するなど、高齢者や障がい者など移動を制約される市民が快適に利用できる公共交通が充実したまちになっています。
- ⑳多様な人が子育てしやすいまちとなり、弘前に住む人みんなが弘前を好きになっています。
- ・子どもからお年寄りまで、健康でいきいきと笑顔で暮らしています。



雪と共に生き 健康で子育てしやすい あずましいまち

- ・新たな発想を持って雪に立ち向かい、また雪を味方にして雪を利用し楽しみながら、雪と共に生き続けています。
- ・子どもたちが元気で健やかに楽しく育つように、子育てしやすい環境が整えられています。
- ・子どもからお年寄りまで誰もが健康でいきいきと笑顔でくらす住みよいまちとなっています。
- ・お年寄りや障がいのある方、観光客なども移動しやすいように、公共交通が充実しています。

【4. 人材育成】

- ①歴史ある弘前の文化が、次世代に継承されています。
- ③弘前の文化は、時代に合わせて柔軟に対応・変化していくことで、進化し続けています。
- ⑥学都として、有能な人材が輩出（地元就職）されています。
- ⑨次代を担う高校生や中学生などが、地域で活動する大学生の活躍に憧れ、継承される好循環が形成されています。
- ⑫地域にある個々のコミュニティをつなぐプロデューサーが、人と人、組織と人をつなぎ、弘前の魅力を知り、地域内外に広めて、結果的に将来のリーダーが育っています。
- ⑯ねぷたを中心としたあずましいコミュニティを核に、地域をプロデュースする人材（リーダー）が育成されています。
- ・老若男女が、大学など学ぶ場所で、好きな時に好きなことを学び続けています。



文化をつなぎ 未来を創る「わけもの」が育つまち

- ・歴史ある文化を次世代に継承し、時代に合わせて柔軟に対応・進化させることができる人材が育っています。
- ・ねぷたをはじめとしたコミュニティ活動などを通じて、人と人・組織をつなぎ、弘前の魅力を発信するような「地域プロデューサー」が育っています。
- ・学都の環境の中で学び、育った人材が弘前で働き、様々な分野においてこのまちの発展に貢献しています。
- ・街中や地域で活躍する大学生に憧れた小中高生が、地域活動を継承する好循環が生まれています。
- ・大学や公民館以外にも地域に様々な学びの場所があり、子どもからお年寄りまですべての世代が好きな時に好きなことを学び続けています。

【5. 産業】

- ① まつり、建造物、食、伝統工芸、津軽弁などの弘前の文化が情報発信されることで、市民だけでなく国内外の多くの方に愛され、他市町村との連携も進むことで、あどはだりしたくなる（何度も訪れたくなる）まちとなっています。
- ② 弘前の魅力的で訴求力のある観光資源が、点から線でつながることで、無限の可能性を持つ弘前の魅力が向上しています。
- ② 他地域とも連携した魅力が面として発信されることで、弘前を中心として津軽全体の魅力が向上しています。
- ④ 弘前市の基盤となる産業が、『継業』により継承され全世代が活躍しています。
- ⑤ 進取の精神により新技術が導入、活用され、農業、製造業、サービス業などすべての弘前の産業の基盤が維持、発展することで、地元経済が活性化しています。
- ⑦ 岩木山と岩木川の自然の恵みを受け、農業が基幹産業であり続けるとともに、最新技術が導入され、多様な人材が活躍できる環境が整っていることで、「働くといえば農業」と農業が若者にとって魅力ある憧れの職業となっています。
- ⑧ 街中に多様な魅力が創出され求心力が高まることで、中心市街地が活性化し、賑わっています。
- ⑨ 若者が街中に住み活動し、賑わいを創出させています。
- ⑫ 伝統工芸を趣味とする人が増えるとともに、子どもたちが伝統工芸に触れる機会が増えることで、担い手不足となっている伝統工芸職人の技術が維持されています。



豊かな実りとあふれる資源を 次へと紡ぐ かへぐ（稼ぐ）まち

- ・岩木山と岩木川の自然の恵みを受けて、良質の農産物を生産し所得が向上することによって、若者が「働くといえば農業」と思うほど、農業が憧れの職業になっています。
- ・まつり、建造物、食、津軽弁など、弘前を中心とした津軽全体の豊富な文化が発信されて観光客が増え、国内外の多くの人に愛され、何度も訪れたくなるまちになっています。
- ・中心市街地に多様な魅力が創出され、幅広い世代の人が集まる拠点となり、賑わっています。
- ・市民が伝統工芸に触れる機会が増えるとともに、伝統工芸の認知度や需要がさらに高まることで、伝統工芸が産業として活性化し、技術も継承されています。
- ・事業承継や「継業」により農業、製造業、サービス業などすべての産業が継承され、全世代が活躍しています。
- ・弘前特有の進取の気質により新技術が導入、活用されることで、産業の基盤が維持、発展することで、地元経済が活性化しています。

※継業…身内ではなく、接点のない第三者が事業、生業、その経営基盤を継ぐこと。

『将来都市像に込めた思い』原案

お岩木山とお城と桜 みんなに愛され誇らしい 離れらいねまち

- ・岩木山や弘前城、桜、ねぶたなど、美しく豊かな自然と風格のある歴史的及び文化的遺産が維持・継承・活用されています。
- ・市民は弘前の自然と文化に誇りと愛情を持ち、住もう幸せを感じ、訪れる人も季節ごとに移ろう、弘前の色、香り、音、味に魅力を感じています。
- ・子どものころから自然と文化に触れあい、弘前を愛する心が育まれ、弘前の魅力の虜となり、若者にとっても住み続けたい、戻ってきたいと思うふるさととなっています。

ひとがつながりひとが育ち地域が和む ヤーヤドーのまち

- ・町会活動やねぶたなどコミュニティ活動が根付き、地域ならではの文化・生活が営まれ、子どもからお年寄りまで学び支え合い、地域ぐるみの子育てが進むなどきずなのあるあずましいコミュニティが維持されています。
- ・高齢者や障がい者への支援が積極的に行われるなど、助け合い、支え合いの体制が整備されています。
- ・市民や行政との連携だけでなく、大学や企業とも共に力を合わせ協働することで、それぞれが持つ専門性や若い力をもって地域の課題解決や活性化がより一層図られています。
- ・歴史的建造物や空き家、空き店舗などが活用され、新しいコミュニティの場所が生まれています。

雪と共に生き健康で子育てしやすい あずましいまち

- ・新たな発想を持って雪に立ち向かい、また雪を味方にして雪を利用し楽しみながら、雪と共に生き続けています。
- ・子どもたちが元気で健やかに楽しく育つように、子育てしやすい環境が整えられています。
- ・子どもからお年寄りまで誰もが健康でいきいきと笑顔でくらせる住みよいまちとなっています。
- ・お年寄りや障がいのある方、観光客なども移動しやすいように、公共交通が充実しています。

文化をつなぎ 未来を創る「わけもの」が育つまち

- ・歴史ある文化を次世代に継承し、時代に合わせて柔軟に対応・進化させることができる人材が育っています。
- ・ねぶたをはじめとしたコミュニティ活動などを通じて、人と人・組織をつなぎ、弘前の魅力を発信するような「地域プロデューサー」が育っています。
- ・学都の環境の中で学び、育った人材が弘前で働き、様々な分野においてこのまちの発展に貢献しています。
- ・街中や地域で活躍する大学生に憧れた小中高生が、地域活動を継承する好循環が生まれています。
- ・大学や公民館以外にも地域に様々な学びの場所があり、子どもからお年寄りまですべての世代が好きな時に好きなことを学び続けています。

豊かな実りとあふれる資源を 次へと紡ぐ かへぐ（稼ぐ）まち

- ・岩木山と岩木川の自然の恵みを受けて、良質の農産物を生産し所得が向上することによって、若者が「働くといえば農業」と思うほど、農業が憧れの職業になっています。
- ・まつり、建造物、食、津軽弁など、弘前を中心とした津軽全体の豊富な文化が発信されて観光客が増え、国内外の多くの人に愛され、何度も訪れたいくなるまちになっています。
- ・中心市街地に多様な魅力が創出され、幅広い世代の人が集まる拠点となり、賑わっています。
- ・市民が伝統工芸に触れる機会が増えるとともに、伝統工芸の認知度や需要がさらに高まることで、伝統工芸が産業として活性化し、技術も継承されています。
- ・事業承継や「継業」により農業、製造業、サービス業などすべての産業が継承され、全世代が活躍しています。
- ・弘前特有の進取の気質により新技術が導入、活用されることで、産業の基盤が維持、発展することで、地元経済が活性化しています。

※継業…身内ではなく、接点のない第三者が事業、生業、その経営基盤を継ぐこと。



『将来都市像』 キャッチコピー